

2013年2月1日 NEWS RELEASE No.93

『第7回 しょうゆ感想文コンクール』入賞者決定！
—全国の小学生(3年～6年)から、743点の応募—

日本醤油協会(会長 濱口道雄)では「食育」推進の一環として、「第7回しょうゆ感想文コンクール」を実施いたしました。

この感想文コンクールは、「食育」推進の一環として実施している「しょうゆもの知り博士の出前授業」や「工場見学」と連動した企画で、全国の小学生(3年生～6年生)を対象に、それぞれの部門で体験したことを感想文という形で記録にとどめていただくために、広く自由な発想の感想文を募集した企画です。(平成24年12月14日応募締め切り)

全国の児童から2つの部門に合計743点の応募をいただきました。それぞれの部門に日本の伝統調味料である“しょうゆ”について、子供らしい感性豊かな感想文が数多く寄せられました。

去る1月24日(木)に、下記の選考委員による「審査委員会」を開催し、厳正な審査の結果、別紙のとおり、各部門の受賞作品を決定いたしました。

なお、「審査委員会」では、予備審査を通過した51点の作品の中から、A:創造性(構想力)、B:文章力、C:発展性、等を選考基準として、厳正な選考を行いました。

《第7回「しょうゆ感想文コンクール」審査委員(敬称略・順不同)》

奈須正裕(上智大学総合人間科学部教授)

畑江敬子(昭和学院短期大学学長/お茶の水女子大学名誉教授)

松田博康(玉川大学教職センター教授)

若手三喜雄(共栄大学教育学部教授)

正田 隆(醤油PR運営委員会委員長)

金子 収(日本醤油協会専務理事)

また、「第8回 しょうゆ感想文コンクール」は、本年4月より開始いたします。(応募締め切り:平成25年12月13日)。これまで以上に全国の多くの児童の皆さんからのご応募をお待ちしています。

第7回しょうゆ感想文コンクール入賞者一覧

2013年2月1日

主催：日本醤油協会

審査委員：奈須正裕（上智大学教授）

畑江敬子（昭和学院短期大学学長）

松田博康（玉川大学教授）

若手三喜雄（共栄大学教授）

正田 隆（PR 運営委員会委員長）

金子 収（日本醤油協会専務理事）

賞名	受賞者詳細			
1. 最優秀賞 (各部門1点・計2点)	出前授業部門	おしょうゆ		こまつ すすか 小松 鈴佳
	高知県	いの町立伊野南小学校	5年	
	工場見学部門	ありがとうの心をこめて		つるぞの まい 鶴園 舞
	愛知県	知多市立旭北小学校	4年	

2. 優秀賞 (各部門1点・計2点)	出前授業部門	すごいね！！しょうゆのパワー		なりまつ ゆうか 成松 裕香
	東京都	小平市立学園東小学校	5年	
	工場見学部門	しょうゆのおいしさのひみつ		にながわ のどか 蛸川 和夏
	東京都	杉並区立久我山小学校	3年	

3. 佳作 (各部門5点・計10点)	出前授業部門	しょうゆのひみつを知ったよ		わたなべ ことみ 渡辺 琴未
	栃木県	小山市立延島小学校	4年	
	出前授業部門	しょうゆで知ったおさしみのおいしさ		むらた こだま 村田 子珠
	千葉県	印西市立西の原小学校	5年	
	出前授業部門	しょうゆが一番		みつい しおり 三井 詩織
	東京都	小平市立学園東小学校	5年	
	出前授業部門	しょうゆ出前授業で学んだこと		かわむら あゆみ 川村 歩未
	高知県	いの町立伊野南小学校	6年	
	出前授業部門	だいすきなたまごかけごはん		みざ かりん 美坐 花梨
	鹿児島県	大崎町立野方小学校	3年	
	工場見学部門	マルヨシしょうゆ工場見学で学んだ事		くりた みずき 栗田 瑞希
	福岡県	宗像市立赤間西小学校	3年	
工場見学部門	しょうゆ工場見学で学んだこと		よしだ みあ 吉田 美明	
福岡県	宗像市立赤間西小学校	3年		
工場見学部門	該当作品なし			
工場見学部門	該当作品なし			
工場見学部門	該当作品なし			

4. 審査委員特別賞 (各部門1点・計2点)	出前授業部門	しょうゆはかせが来たよ		うむら ゆうか 植村 侑佳
	鹿児島県	大崎町立野方小学校	3年	
	工場見学部門	該当作品なし		

賞名	都道府県	学校名
団体奨励賞 (1校)	東京都	小平市立学園東小学校

※学年は平成24(2012)年度です

「第7回しょうゆ感想文コンクール」最優秀賞 講評（審査委員会）

●出前授業部門 最優秀賞

「おしょうゆ」

小松 鈴佳さん（高知県・吾川郡いの町立伊野南小学校5年）

出前授業への期待感や実際に授業を受けてみた感想などが、とてもしっかりとした、わかりやすい文章で書けています。また作品からは、しょうゆの3つの原料やしょうゆに含まれる匂いの成分が300種類もあること、麹菌の役割など、授業内容の一つ一つをきちんと理解していることも伺えます。

授業を終え家庭に戻ってからも、家族と語り合いながらしょうゆを使った料理について学んでおり、しょうゆへの関心が出前授業の時だけのものではないこともわかりました。作品全体を通して見てみると、文章力・内容ともに高いレベルでバランスがとれており、これが最優秀賞の受賞につながりました。

●工場見学部門 最優秀賞

「ありがとうの心をこめて」

鶴菌 舞（愛知県・知多市立旭北小学校4年）

鶴菌さんは、白だししょうゆを作るメーカーの工場見学に参加しました。ここでしょうゆの製造工程を学ぶとともに、しょうゆ工場がよりよい製品を生み出すために、原料の吟味や製造方法の工夫などさまざまな取り組みを行なっていることも知ります。おいしいしょうゆを作るため、工場の人たちが取り組む工夫の中で、鶴菌さんが一番驚いたのは、工場のあちこちに貼られている「ありがとう」の言葉でした。

安全で、おいしい食品を生み出すためには、食材、自然、消費者などさまざまなものに対する感謝の心が重要です。この工場見学で、鶴菌さんが本当に大切なことを学ぶことができ、とてもうれしく思います。

以上の件に関する取材のお問合せは

しょうゆ情報センター（醤油PR協議会）
大関 恒雄（事務局長）、中川美代子
住所 東京都中央区日本橋小網町3-11（〒103-0016）
電話 03-3666-3286 FAX 03-3667-2216
URL : <http://www.soy sauce.or.jp> E-mail soyic@soysauce.or.jp